

ふれあいポケット

題字
牟礼小学校1年

みなみはたりさ

2019
7/31

No.160

FUREAI POKETTO



第14回ふれあい広場が 開催されました！

6月29日（土）に第14回ふれあい広場が開催されました。来場者はなんと1,100人！10を超える団体が、模擬店や体験コーナーなどのブースを開いてくださり、子どもから大人まで楽しめるイベントになりました。

ふれあい広場は、地域の皆さまと一緒に作り上げる年に1度のお祭りです！
来年も一緒に盛り上げていきましょう♪

●●●主な記事●●●

- P 2 新会長あいさつ
ふれあい広場について
- P 3 みんなあつまれ！
手話で遊ぼうのお知らせ
- P 4.5 ふくっこ倶楽部
- P 6 飯綱町の事業所紹介
- P 7 今後の予定 ほか
- P 8 クイズコーナー
りんごのつばやき
- 新 ささらばさら(4コママンガ)

飯綱町社会福祉協議会 新会長就任あいさつ

令和元年6月20日付で飯綱町社会福祉協議会長に就任いたしました荒井和己でございます。

飯綱町で暮らすすべての皆様が、笑顔で安心して暮らせる支えあいのまちづくりを、行政や関係機関と連携し、職員と一緒に推進してまいります。

また、さらに愛され信頼される社会福祉協議会を目指し、努力いたします。

最後に、町民の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



【荒井 和己 会長】

ご協力ありがとうございました！／

お祭り「いいづなふれあい広場」。今年は、約1,100名の方々にライター伊藤ひよりさんに飾っていただき、華やかな雰囲気で大いに盛り上がりました。その他にも、ボンボン釣りや風船割りにがいたり、「何十年ぶりのわたあめだ!？」とほほ笑むお年寄りな



いただきました皆様、本当にありがとうございました！

皆様の温かいご支援ありがとうございました。

絵手紙+手話 ～気仙沼の海産物販売や絵手紙で被災地を元気に～

3,204 円

小物づくりボランティアの会

8,000 円

合計 23,055 円



★ みんなあつまれ!! 第4回手話で遊ぼう

●手話で歌をうたってみよう

(2020年東京オリンピック応援ソング「パプリカ」・「小さな世界」

・「さんぽ」・「手のひらを太陽に」など)

●優しい手話・楽しい手話をやってみよう

●折り紙で遊ぼう!!

聴覚障がい者の方と一緒に楽しもう!!



日時 令和元年8月3日(土) 午前10時~12時

場所 飯綱町民会館併設 元気の館

※参加費・申込みの必要はありません。当日、会場へお越しください。

お問合せ 飯綱町ボランティアセンター

電話：253-1001 FAX：253-1002

主催：手話サークルむれ

協力：ボランティア連絡会・飯綱町・飯綱町社会福祉協議会

第14回ふれあい広場へのご来場・

たくさんの人々が出会い、ふれあい、つながりが生まれた福祉のご来場いただきました。オープニングは長野県出身シンガーソングントがはじまり、飯綱中学校吹奏楽部の迫力ある演奏に会場全体が熱中する子どもたちやフラワーアレンジや絵手紙を楽しむ親子連れど幅広い世代の方々が楽しむことのできるイベントになりました！ご来場いただいた皆様、協賛企業様、実行委員会をはじめご協力

第14回ふれあい広場では総額 **23,055 円** の義援金が集まりました！

内訳：被災地を励まそう～木村さんの活動に想いを馳せて～ 8,851 円

ミニフラワーアレンジメント

3,000 円



つながい隊にご招待！

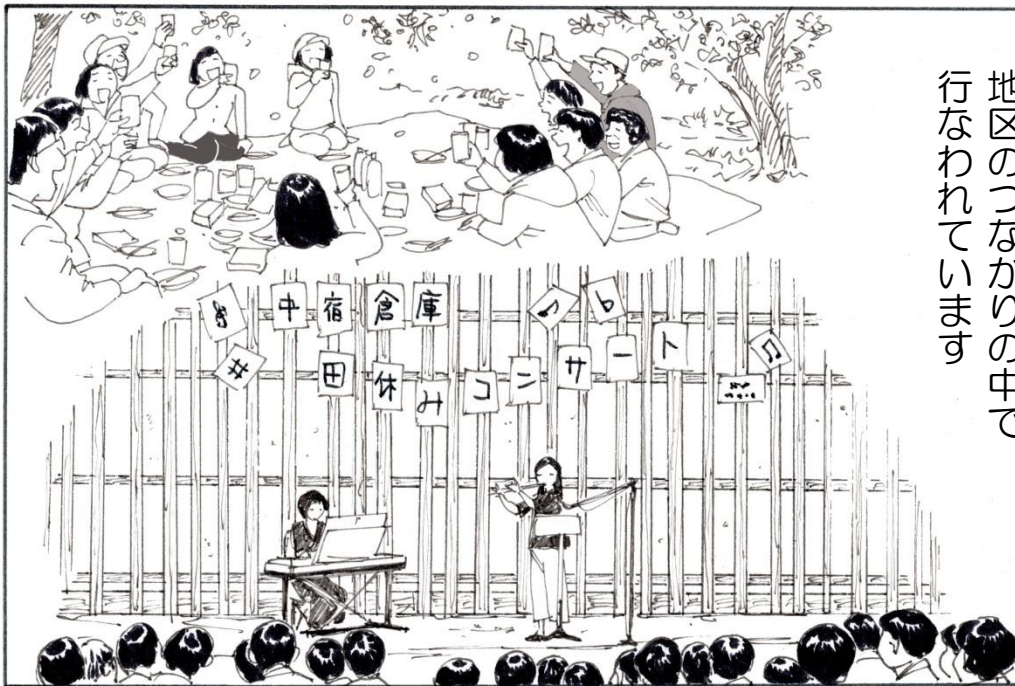
～『つながり隊モデル地区プロジェクト』より～

昨年度5地区でモデル地区として実施いただいた内容を、マンガで紹介していきます。

今回紹介するのは、中宿地区です。

中宿地区

中宿地区では、春にお花見会や桜のライトアップ
六月には「田休みコンサート」
仲秋の名月には「月見堂」が
あった場所でお月見会などが
地区のつながりの中で
行なわれています



この地区の特徴的な
避難方法として
組ごとに一本のロープに
みんながつかまり
避難します。
その理由は、上り坂が
多いこと。
また子供や高齢の方が
夜間などみんなが
はぐれないように
ということに使われて
いるのです。

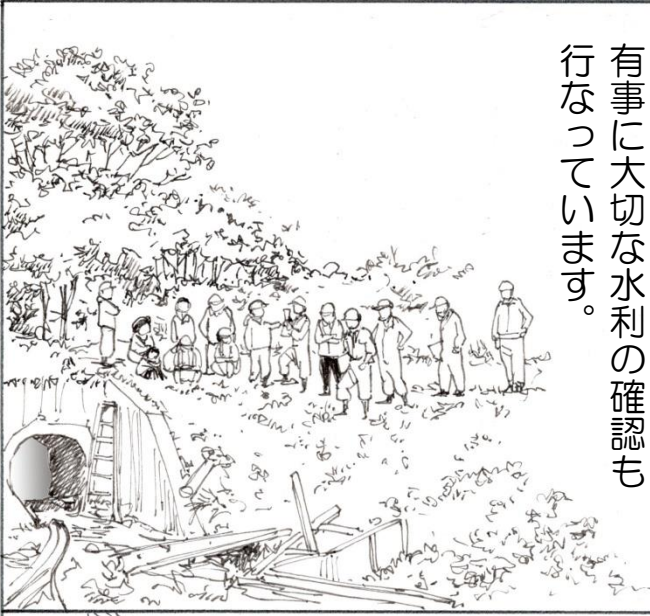
この地区では
三年前から防災訓練を
七月と九月に行っています。
年二回開催することで
地区の方と顔を合わせる
機会が増え、ふれあいや
つながりづくりができ
住民の参加意欲や
防災に対する意識も
高まっています。



昨年七月の避難訓練では
AEDの講習会も
行なわれました。



また、九月の訓練の際には
他の地区の事例から
有事に大切な水利の確認も
行なっています。



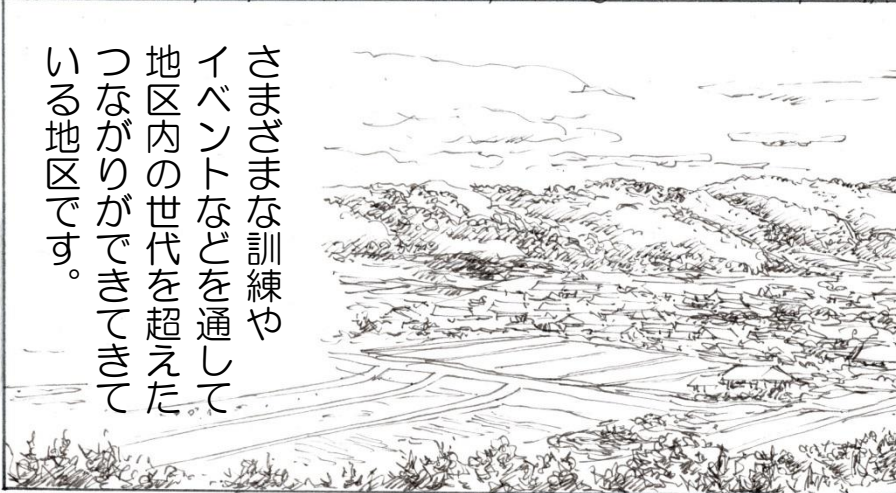
それぞれの世帯に
三角巾を配布し
ケガなどをされた際の
応急手当の講習も
行なわれています。



地区独自で
食料の備蓄もされていて
いざという時には
十九歳から
七十五歳までの方の
役割が明確にしてあるので
防災力万全！



さまざまな訓練や
イベントなどを通して
地区内の世代を超えた
つながりができてきて
いる地区です。



いいつなまちが より いいつながりのあるまちに

つながり隊とは、皆さんがお住まいの小地域
(区・組)でのつながりを大切にした、助け合い
活動を進める組織です。誰もが暮らしやすい地
域にするためには、町民の皆さんの力(活動)が
重要です。皆さんのご協力をお願いします。

飯綱町の事業所紹介

社協の事業所紹介 ～さみずの郷～



〈小布施 H・W オアシス公園〉

“歩行訓練のあとさき”

社協本部から 200m 坂道を進むと「さみずの郷」があります。介護予防の拠点として「生きがい作りや交流を通して利用者の社会参加を目指していく」を目標に日々活動しています。

ボランティアさんにもお手伝いいただき雑巾作り、収穫を楽しみに畑で野菜作り、健康維持のための体操・脳トレ、時には外出訓練をして充実した時間を過ごしています。

ご希望の方は大きいお風呂で入浴もしています。

一日楽しく過ごしませんか。もちろん見学也大歓迎です。お気軽にご相談ください。

問い合わせ 026-253-8882 原山



〈雑巾縫い〉 小学校へプレゼントします



〈ジャガ芋畑で一服中です〉



NPO 法人さみず さんばだより

さんばの銀杏の大木に、深い緑の葉が生い茂り、根本に白いスマートな車を停めて写真に納めると、光と影と緑と白で、車の宣伝に使える構図です。その車の屋根に「黄色いぎんなん」を敷き詰めたら、今はやりの「インスタ映！」。

さんば近隣に住んでいる鳥達は、この銀杏の木を気に入って、朝早くから遊びに来ているようで、出勤時は、ちょうど朝昼寝時なのか静かですが、お茶のあと、さんばの合唱(?)が始まると、負けじと歌い(さえずり)踊り(舞い回り)、糞をひり散らかしています。この鳥たちを怒っているのが、木の下に車を停める職員の面々(大体停める位置が決まっている)。怒りの矛先は、銀杏の木にも及び、「切るわけにはいかねんかい」と最後は管理者(誰でしょう?)にまで。「銀杏の木には木の精が宿っているのでひどいことをすると祟りがあるんだよ。」とまことしやかに話してその場は治まるのですが…。車を覆えるブルーシートを配給?する予定です。どうです、緑と白と青と黄色(秋のみ)の饗宴!さんばに来て観て。

てんぐカフェよりお知らせ

てんぐカフェは、毎月1回から2回、飯綱町民会館を会場に飯綱町版のこども食堂として開催しています。

只今、てんぐカフェではご自宅で作った野菜や缶詰等、食べきれない食材を募集しております。

今後の開催予定日

8月10日(土)	9月14日(土)	9月28日(土)
10月12日(土)	11月24日(日)	12月14日(土)

ご提供いただける方は、飯綱町ボランティアセンター
電話 253-1001 までご連絡ください。



寄付欄

匿名様

10,000円

地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございました。



今後の予定

8月5日(月)	スロージョギング	8月6日(火)	老いの支度講座④
8月10日(土)	てんぐカフェ	8月19日(月)	オレンジカフェ
8月22日(木)	わらび会	8月27日(火)	老いの支度講座⑤



社協ってなんだ？
気になる方は右記より簡単に
アクセスできます。ぜひご覧ください。

Instagram



飯綱町社協 HP



【 クイズコーナー 】

ふれあいぽけっと7月号を読んで答えを見つけよう！
正解者の中から5名様に素敵なお楽しみプレゼント♪

- ① 今年のふれあい広場は第何回？
- ② みんなあつまれ！第4回手話で遊ぼうの開催日は？
- ③ 飯綱町社会福祉協議会新会長の名前は？

応募方法

62 おもて ハガキ表
389-1201

いいづなまちいもがわ
飯綱町芋川181

いいづなまちしゃがいふくしきょうぎかい
飯綱町社会福祉協議会

「クイズコーナー」

うら ハガキ裏

- ・ こた 答え
- ・ なまえ 名前
- ・ こんげつごう 今月号の感想など
- ・ じゅうしょ 住所
- ・ でんわばんごう 電話番号
- ・ かんそう 今月号の感想など



社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による
応募も受け付けております。(町内在住の方に限ります)
締切りは、8月9日(金)です。【消印有効】
多くの皆様のご応募お待ちしております。

6月号当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。景品につきましては、飯綱カード協同組合からのご協力をいただいております。

新 せせらび (113)



りんごのつぶやき

今、福祉の世界では「共生の地域づくり」という言葉が流行っているが、よく調べると社協が昔から提唱している「住民も専門職も行政も、みんなが共同で支え合う地域づくり」「他人の困りごとを放っておけない、良い意味で『お節介』な地域づくり」「その結果、どんな人でも一緒に生活できる地域づくり」に近い考え方のようだ。ではどうすれば「共生の地域づくり」が進むのか？様々な人に意見を聞いたが、中でも今年75歳の女性が幼少時に体験した「おこんじきさん」の話が忘れられない。時は昭和20年代、日本全体が貧しかったある日、家族揃って夕飯を食べていたら外から声があるので、戸を開けたら薄汚い身なりの「おこんじきさん」が物乞いに立っていた。母親は「困ったもんだ」と言い、おかわり分の残り飯を握りはじめた。そこに漬物を3切れ添えて、「裸で渡してはいけない」と、障子紙の切れ端に包んで渡した。おこんじきさんは「ありがたうございます」と言い、縁側で握り飯をほおばって「どこかへ行ったそうだ」「困ったもんだ」と言いながら、見ず知らずの物乞い人を不審者扱いもせず握り飯を提供する、これが私の「共生の地域」の原点だと話してくれた。その後日本は豊かになり、おこんじきさんも忘れ去られつつある、でも消滅したわけではない。もし今晩自宅におこんじきさんが来たら、あなたはど